

人間の安全保障無償資金協力：小児糖尿病協会本部建設計画

2004年9月2

日、サンパウロ市内において、小児糖尿病協会（ADJ）に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の引渡式が開催されました。

同引渡式は、資金協力により整備された同協会本部において石田仁宏在サンパウロ日本国総領事、同協会ススム・ニヤマ会長他多数が出席して盛大に実施されました。



>> 記念プレートの前で

左: ニヤマADJ会長

右: 石田総領事

撮影： ミルトン・ネスパッティ氏

式典でニヤマ会長は、「日本政府からの援助により、長年の悲願であった本部建設が実現しました。」と挨拶し、我が国への厚い謝意を示しました。続いて石田総領事の挨拶、顕彰プレート除幕式、施設の紹介などが行われました。



整備前の協会外観



整備後の協会外観



整備前の協会内部



整備後の協会内部

○ 上記案件のプロフィール

案件名：「小児糖尿病協会本部建設計画」

被供与団体：小児糖尿病協会（ADJ）

契約署名日：2004年1月9日

供与限度額：75,414米ドル

案件概要：

ADJは、サンパウロ市内において、小児糖尿病患者及びその家族に対し、生活指導やインスリン注射の指導等の支援を行っている非営利団体です。過去ADJは賃貸建物を本部として活動してきましたが、高額な賃貸料が財政的な重荷となっていました。

今回の総領事館の協力は、ADJが自ら購入した不動産を新たな本部として整備する費用に充てられるもので、これにより従来の賃貸料負担がなくなり活動資金に余裕が生まれます。また、講演会開催スペース等、本部施設が拡大したことにより、裨益者の数が一層増加することも期待されます。